

2008年頭のご挨拶

兵庫県山岳連盟会長 中島 龍

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、暑い日が長く続き、全国各地で猛烈な豪雨が襲うという、地球温暖化によると思われる異常な気象による被害が相次ぎました。「秋田わか杉国体」山

岳競技会場の北秋田市森吉地区でも、大会直前に記録的な豪雨に見舞われ、国体的な豪雨に見舞われ、国体どころでは無い状態だったところでした。無事に開催された蔭には、関係者の大変なご努力によるものとお聞きし、真に頭の下がりました。

昨年四月から日山協会の山岳共済が変更になり、日山協から独立した山岳共済会に入るにより、登山者誰もが、保険に加入出来るようになりました。平素から事故に備えておくことは大事なことと思います。

また、山岳連盟がより皆さんに役立ち、より身近な存在となるよう、多くの登山者の方々に登山に対する理解を深め親しんでいただくための組織変更をいたしました。それが普及委員会とジュニア委員会の設置です。普及委員会と自然保護委員会と連携する山行計画が実行され、好評をいただいております。

国体に関することは、競技委員会として所管され、活動が続けられています。そして、「秋田国体」に向けて成年男女、少年男女とも全種目出場を果たしたことは大変嬉しいことでした。

十一月に、常陸宮同妃両殿下ご臨席のもと、兵庫県公館で開催された「自然公園ふれあい全国大会」の席上、神戸ヒヨコ登山会が、環境保全功労者として知事表彰を受賞されたことは我が山岳連盟としても大変な喜ぶことであり、心からお祝ひを申し上げます。

十二月恒例の近畿地区山岳連盟総合会議では、情報交換をはじめ、今後の大会に必要な審判員等の相互支援や、近畿地区山岳連盟として、一般登山者へ呼びかける必要がある事柄を纏めていくこと等を話し合いました。

今年は、山岳連盟が誕生して六十周年を迎えます。先輩方のこれまでのご努力に感謝し、新たな出発点として、共に力を合わせて参りたいと思っております。

そして、これを機に、多くの登山者のための遭難予防、遭難対策を積極的に進め、将来はレスキュー隊も編成出来ればと考えています。

来年は高校総体（山岳）が兵庫県で開催されます。協力し合って、支援を行かねばなりません。本年が、皆様にとりまして良い年でありませう。心から祈念いたします。

兵庫県山岳連盟

写真＝イタリア・ドロミテ山系からの日の出 撮影 森川 列

迎

2008年元旦